

資料 5

本文中＊の付いた用語の解説

あ 行	
ICT活用教育	教育現場において、1人1台端末や、高速大容量の通信ネットワークなどのICT（Information and Communication Technology の略）を活用した教育。

か 行	
学校司書	司書教諭や図書館担当教諭と連携して、蔵書管理やデータ管理、読書案内など、学校図書館に関する事務を行う職員。
学校図書館図書標準	文部科学省が、公立義務教育諸学校の学校図書館に整備すべき蔵書の目標として定めたもので、小中学校の学級数に応じて、整備すべき蔵書標準を算出する。
家庭文庫	地域のボランティアにより、主に地域児童を対象として読書に親しむために開設された施設。
子育てサポートキャラバンびよびよ	保育士が、専用車「びよびよ」号におもちゃを積んで地区センター等を巡回し、子育てをサポートする事業。地区ボランティアの協力を得ながら、親子での遊びや育児相談などを実施する。
子育て支援センター	市が実施する特別保育事業の一つで、沼津駅南口のビルにある沼津っ子ふれあいセンター「ぽっぽ」を始め、10か所が保育園等に設置されている。乳幼児の子どもと、子どもを持つ親が無料で利用し、交流を深めることが出来る。また、育児不安等についての相談指導等も実施している。
子ども読書の日	「子どもの読書活動の推進に関する法律」で、4月23日を「子ども読書の日」と定めている。
こどもの読書週間	公益社団法人 読書推進運動協議会により、「子ども読書の日」を含む、4月23日から5月12日を「こどもの読書週間」と定めている。

さ 行	
さわる絵本	視覚障がいを持つ子どもたちが指で本を読めるよう、さし絵をさまざまな材料で盛り上がった形にし、文は拡大文字や点字を用いた絵本。
司書教諭	学校図書館の専門的職務を担う教員。平成 15 年の学校図書館法の一部改正で、12 学級以上の学校に必ず置かれることとなった。

た 行	
図書整備率	学校図書館図書標準に示された蔵書数に対する実際の蔵書の割合。
読書週間	公益社団法人 読書推進運動協議会により、読書普及のため定めた秋の「読書週間」。「文化の日」を中心とする 10 月 27 日から 11 月 9 日までの 2 週間。
読書センター 学習センター 情報センター	文部科学省の学校図書館ガイドラインに示されている学校図書館の 3 つの機能。 ・読書センター 読書活動や読書指導の場としての機能 ・学習センター 児童生徒の学習活動を支援したり、授業の内容を豊かにして、その理解を深めたりする機能 ・情報センター 児童生徒や教職員の情報ニーズへの対応や、児童生徒の情報の収集・選択・活用能力を育成する機能

な 行	
夏休み図書館子ども探検隊	市立図書館、戸田図書館が行っている夏休みのイベント。小学生を対象に、図書館の仕事を体験する。
ぬいぐるみおとまり会	市立図書館が実施している子どもを対象としたイベント。親子でぬいぐるみを持っておはなし会に参加後、ぬいぐるみを図書館で一晩預かり、本と一緒にぬいぐるみを撮影。翌日、親子がぬいぐるみを迎えに来た際に、撮った写真をプレゼントすると共に、ぬいぐるみが選んだ本として図書館で選書した本を 1 冊貸し出す。

沼津っ子ふれあいセンター	沼津駅南口のビル内に開設された地域子育て支援拠点施設で、愛称は「ぼっぼ」。専任の保育士が常駐し、フロア開放や一時預かり保育、保育相談、育児講座などを実施する。
沼津こども図書室（パタポン）	沼津っ子ふれあいセンター内に開設された図書室で、約 3,000 冊の絵本・児童図書を有し、貸し出しのほか、ボランティアグループ等による読み聞かせ会を行っている。

は 行	
ビブリオバトル	本の紹介コミュニケーションゲーム。ビブリオ（Biblio）とは、「本、書物」などを意味するラテン語由来の言葉。 ビブリオバトルの公式ルールは、発表者がお勧めする本を5分間で紹介した後、その本に関する3分間のディスカッションを参加者全員で行い、最後に、“一番読みたくなった本”を基準に、参加者全員の投票により、“チャンプ本”を決める。
ブックトーク	テーマを決めて、時間内に何冊かの本を紹介し、本を読みたいという気持ちを起こさせる活動で、主に学校や図書館で子どもを対象に行われる。
ポップ	お勧め本や特集テーマ本などが目に留まりやすいように、本の近くに置く飛び出た見出し飾りや、短い文で本を紹介する見出しなどを指す。
本の福袋	市立図書館が実施しているお正月イベント。職員が選書した本をタイトルが見えないように包装紙で包んで貸し出す。普段自分では選ばないような本との出会いを提供する。

や 行	
ヤングアダルト	子どもから大人への転換期にある13歳から18歳の中高生世代を意味する。図書館では、この年代の興味ある分野や、将来の進学・就職を考える上でのヒントになるような図書が求められる。

ら 行	
レファレンス	図書館が行うサービスの一つで、職員が利用者の問い合わせに応じ、参考資料等を提供する業務。